

令和 7 年度の主な取組状況

■ 博物館管理事業

展示棟に関する工事	
堺市博物館展示ケース内照明 LED 工事（資料収集保存事業）	3,993 千円
堺市博物館大屋根軒樋修繕工事	1,253 千円
堺市博物館展示場内男子便所外小便器自動ハイタンクバルブ修繕工事	147 千円
空調関係工事	
堺市博物館空気調和設備改修工事 ※堺市博物館の空調設備について、老朽化や損傷が進んでいるため、 令和 6 年度から 2 か年で改修工事を実施している。 (工事費：227,891 千円、工事監理業務 4,529 千円)	R6：89,900 千円 R7：142,520 千円
堺市立みはら歴史博物館に関する工事	
みはら歴史博物館内展示ケース等の LED 化工事（資料収集保存事業）	2,498 千円
みはら歴史博物館 1 階カフェテリア系統空調更新工事	1,815 千円
みはら歴史博物館非常照明取替工事	1,355 千円
みはら歴史博物館オストメイト用設備設置工事	985 千円
みはら歴史博物館屋上キュービクル高圧コンデンサ取替工事	327 千円
みはら歴史博物館案内サイン修繕工事	99 千円
その他	
堺市博物館雨水管洗管工事	297 千円
堺市博物館事務室横湯沸室流し台排水管修繕工事	142 千円
堺市博物館茶室私設量水器漏水修繕工事	125 千円

■ 展示事業

・堺市博物館での展示

展示名称	会 期	趣 旨	観覧者数 (来館者数) <観覧者数/日>
企画展 堺の技と美 工芸を彩るレッド&ブルー	5月20日～7月13日	大阪・関西万博公式キャラクターのミャクミャクの色である赤と青に注目。古代から現代までの堺ゆかりの工芸品を展示し、赤と青がどのように表現され、何をシンボライズしてきたか紹介した。	12,002人 (22,702人) <250人>
企画展 堺のたからもん －金で魅せる・黒を愛でる－	7月19日～9月7日	華やかな金色と深みのある黒色をまとう品々によって彩られてきた堺の歴史・文化を紹介し、仁徳天皇陵古墳石室の副葬品と考えられる金銅装刀子等を展示した。 図録を作成 (240円)	14,214人 (27,213人) <309人>
特別展 堺の竹工芸家たち －前田竹房齋と田辺竹雲齋 ※同時開催 四代田辺竹雲齋	9月20日～11月3日	堺を代表する竹工芸家、前田竹房齋と田辺竹雲齋の代々の作品を展示。堺市茶室「伸庵」では、現在国際的に活躍中の四代田辺竹雲齋展を同時開催した。(主催：堺市文化課) 図録を作成 (2,100円)	6,559人 (33,412人) <163人>

・さかい利晶の杜学芸グループによる展示

展示名称	会 期	趣 旨	観覧者数 (来館者数) <観覧者数/日>
企画展 堺に生きた山崎豊子の まなざし－愛用品の数々－	4月19日～5月29日	堺に住んだ作家山崎豊子の書齋を復元し、また愛用品の数々を紹介してその素顔に迫る。	4,358人 (24,484人) <111人>
企画展 パリより－与謝野晶子と 寛の渡欧体験－	7月26日～9月7日	晶子と寛の人生を大きく変えた渡欧体験を寛の渡欧日記や、ロダントの書簡などの初公開資料を通して辿る。	3,390人 (20,266人) <78.8人>
企画展 世界から堺へ ～中世堺の栄華をたどる～	令和8年1月24日 ～3月15日	近年の調査事例で明らかになった中世都市堺の実態、特に景観の復元に焦点をあてて紹介(共催：堺市文化財課)	(開催中)

■ 資料収集保存事業

・ 資料整理事業

事業名	実施内容
大塚山古墳出土品基礎整理	<p>令和2年度より、当館収蔵の出土品約160箱の種類・数量・状態の把握、また緊急性のある資料の保存処理を公益財団法人元興寺文化財研究所へ委託している。鉄製品は他に類例がないほど大量で、報告作業を同時に進め、将来は重要文化財指定をめざす。</p> <p>令和7年度は、基礎整理を実施し、農工具73点、鏡3点、三尾金具1点、鈎状鉄器1点の実測図作成・写真撮影のほか、襟付短甲の保存処理を実施している。</p>

・ 保存修理事業

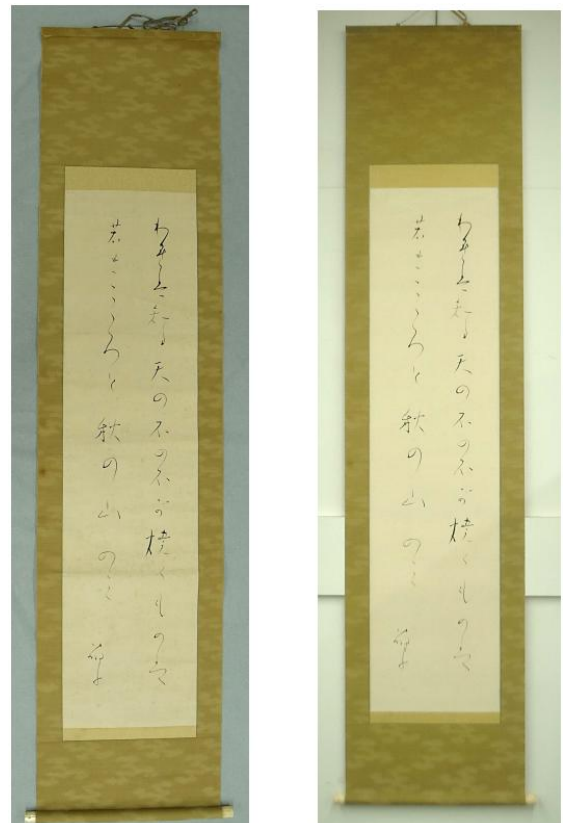
資料名等	実施内容
千手観音像 1幅 江戸時代	令和2年度に寄贈された和泉国日根郡「行基講」関連資料（掛軸類、仏具類、染織類、典籍類）32件38点のうち1点である同資料の保存処理を行った。
与謝野晶子自筆歌掛軸 （我は知る）	与謝野晶子自筆歌掛軸について本紙の保存処理と裏打ちの仕替えを行った。



大塚山古墳出土襟付短甲（保存処理前）



千手観音像
（左・保存処理前、右・保存処理後）



与謝野晶子自筆歌掛軸（我は知る）
（左・保存処理前、右・保存処理後）

■ 普及広報事業

・普及事業

1 展示関連普及事業

堺市博物館実施分

(1) 企画展 堺の技と美 工芸を彩るレッド&ブルー

5月20日～7月13日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
講演会1「珠洲焼の産地を襲った震災－珠洲焼の歴史と能登半島の現状－」	能登町教育委員会・寺口学氏	5月24日	25人
ワークショップ1「須恵器作り体験」	西念陶器研究所所長・西念秋夫氏、日本最古の窯業地「すえむら」の会	5月25日	23人
展示品解説「色々な赤と青を見てみよう！」	宇野	6月7日	7人
講演会2「人類史における「色彩」をめぐって－縄文時代の赤・埴輪の青を中心に－」	筑波大学教授・谷口陽子氏	6月8日	73人
ワークショップ2「カラフル書道体験－色紙に好きな字を書こう－」	根来	6月22日	55人
トークセッション1「探検家×神職が語る赤と青の彩り」	浜谷探検家・田中彰氏、道明寺天満宮宮司・南坊城光興氏	6月28日	46人
展示品解説「色々な赤と青を見てみよう！」	宇野	7月6日	11人
トークセッション2「堺のふとん太鼓－百舌鳥八幡宮月見祭を中心に－」	百舌鳥赤畑町・大熊和彦氏、百舌鳥梅町・柴原博一氏、土塔町・藤木博則氏	7月12日	51人

(2) 企画展 堺のたからもん－金で魅せる・黒を愛でる－

7月19日～9月7日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
ワークショップ「本物の金箔を貼って古墳柄インテリアプレートを作ろう」	有限会社黒澤商店・伝統工芸士・黒沢哲也氏	7月20日	12人
講演会「仁徳天皇陵古墳の新知見1」	國學院大學博物館副館長・文学部教授・内川隆志氏、関西大学客員教授・徳田誠志氏	7月27日	131人
展示解説「企画展を楽しむツアー」	橘	8月10日	24人
ワークショップ「金継ぎでアクセサリを作ろう」	金継ぎラウンジ・高城ちひろ氏	8月17日	15人
講演会「仁徳天皇陵古墳の新知見2」	國學院大學博物館教授・深澤太郎氏、日鉄テクノロジー株式会社文化財調査・研究室室長・渡邊緩子氏、十河	8月23日	151人
ベビーデー	橘	8月26日	3組6人
ワークショップ「古代の文字を書いてみよう～私だけのウチワ作り～」	根来	8月30日	27人
展示解説「企画展を楽しむツアー」	橘	9月6日	23人

(3) 特別展 堺の竹工芸家たちー前田竹房齋と田辺竹雲齋ー

9月20日～11月3日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
講演会&実演「堺から世界へー伝統とは挑戦なりー」 ※	四代 田辺竹雲齋氏、田辺讚良氏、田辺香來氏、田辺真人氏	9月21日	67人
作品解説 ※	文化課学芸員・荻山	9月27日	15人
茶会「竹に出会う」	監修・特別協力 NPO 法人 和の学校	9月29日	43人
中秋の名月に贈る竹工芸ナイトミュージアム	—	10月3日 ～5日	150人
作品解説 ※	文化課学芸員・荻山	10月12日	13人
竹かごワークショップ ※	四代 田辺竹雲齋氏 田辺竹雲齋工房	10月26日	23人

※文化課主催事業

さかい利晶の杜学芸グループ実施分

(1) 企画展 堺に生きた山崎豊子のまなざしー愛用品の数々ー

4月19日～5月29日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
展示品解説	木下	4月29日	17人
展示品解説	木下	5月10日	35人
講演会「山崎豊子の文学的出発ー新資料から見えてくることー」	相愛大学人文学部教授・荒井真理亜氏	5月18日	49人

(2) 企画展 パリよりー与謝野晶子と寛の渡欧体験ー

7月26日～9月7日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
記念対談「与謝野晶子と寛が歩いたパリ」	跡見学園女子大学名誉教授・神野藤昭夫氏、日仏文化交流研究者 資料収集家・菊地英之氏	7月27日	23人
展示品解説	森下	8月9日	10人
ワークショップ「ミニ百首屏風をつくってみよう」	森下、根來	8月17日	15人
展示品解説	森下	8月31日	34人

(3) 企画展 世界から堺へ～中世界の栄華をたどる～

令和8年1月24日～3月15日

イベント名	講師・担当	開催日	参加者数
学芸講座「交易と流通からみた中世界」	神戸女子大学教授・関周一氏、文化財課学芸員	2月8日	45人
展示解説	文化財課学芸員	2月8日	24人

2 堺市博物館学芸員サンデートーク

4月13日から11月2日までの毎週日曜日に、学芸員が館内の展示資料について解説を行った。全30回、参加者計550人という結果となった。

3 学校団体等受入

令和7年度 学校来館数(延べ) 一覧

	小学校	中学校	高校	合計
市内の学校	59校	5校	1校	65校
市外の学校	23校	1校	2校	26校
合計来館数	82校	6校	3校	91校

令和7年度 児童・生徒・教員等来館者人数(延べ) 一覧

小学生	中学生	高校生	引率者	合計
5,613人	487人	132人	713人	6,945人

4 体験学習会 11件17回 1,082人

イベント名	開催日	児童・生徒	保護者	参加者合計
博物館で体験しよう	4月20日・11月2日	81人	87人	168人
古代の服を着てみよう	5月5日	31人	58人	89人
プラバンで堺の歴史キーホルダーを作ろう	6月14日・7月30日	78人	92人	170人
ダンボールで仁徳天皇陵古墳を作ろう	7月19日・8月3日	41人	43人	84人
ハニワを作ろう	7月21日・8月9日	42人	33人	75人
勾玉を作ろう	7月27日・8月16日	74人	55人	129人
厚紙で古代の冑を作ろう	8月11日	14人	17人	31人
勾玉ストラップを作ろう	9月13日	46人	42人	88人
色付き勾玉を作ろう	10月5日	29人	28人	57人
しめなわ作りを体験しよう	12月13日	22人	45人	67人
昔の道具・遊びを体験してみよう	令和8年1月24日・2月22日	※65人	※59人	※124人

※1月24日開催分の人数

5 さかいミュージアム・パス&スタンプラリー2025

実施期間：7月19日～8月31日

市内の博物館等文化施設の集客促進と活性化を目的とした事業。平成26年度から実施。堺市内在住・在学の小・中学校の児童・生徒及び堺市在住の未就学児を対象に、当事業参加館の入館料を子ども1名とともに保護者1名も無料とするミュージアム・パスを発行する。また、当事業参加館を巡るスタンプラリーも併せて実施。集めたスタンプの数に合わせて記念品等を贈呈。

参加施設	堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、さかい利晶の杜、百舌鳥古墳群ビジターセンター、堺 アルフォンス・ミュシャ館、堺伝匠館、シマノ自転車博物館、堺市立町家歴史館(鉄炮鍛冶屋敷・山口家住宅・清学院)、黒姫山古墳ガイド施設、小谷城郷土館 合計12館
------	--

12 館への入館者数	小学生 6,031 人 中学生 247 人 未就学児 1,245 人 保護者 5,478 人 合計 13,001 人
記念品贈呈者数	缶バッジ (6 館に入館) 贈呈者数 446 人 記念品 (12 館全てに入館) 贈呈者数 325 人

6 日本と世界が出会うまち・堺 2026 プロジェクト

中学生・高校生がグループ単位で参加し、堺の国際交流の歴史などのテーマを研究発表する事業。平成 25 年度より実施。

主催	堺市博物館、大阪大学歴史教育研究会
協力	「日本と世界が出会うまち・堺」プロジェクト研究会、高大連携歴史教育研究会、堺ユネスコ協会、NPO 法人堺なんや衆
研究発表日	11 月 16 日
会場	大阪大学箕面キャンパス 1 階大阪外国語大学記念ホール (Zoom にて配信)
参加者	147 人 (会場 111 人、Zoom 参加者 36 人)
参加した中学校	関西大学中等部、堺市立三国丘中学校、帝塚山学院中学校、奈良学園登美ヶ丘中学校、雲雀丘学園中学校 5 校 5 グループ
参加した高校	関西大学高等部、帝塚山学院高等学校、箕面自由学園高等学校 (2 グループ)、桃山学院高等学校 (2 グループ) 4 校 6 グループ

7 博物館実習

博物館学芸員資格取得希望者のための事業。今年度は 8 月 5 日～8 日・11 日実施。各大学を通じて 5 月に募集した。博物館の事業に関する講義及び考古・美術・歴史・民俗の各分野の資料の取り扱い実習、展示場等施設見学、広報物発送準備、体験学習補助等を実施。

受入大学：大阪国際大学、関西学院大学、北里大学、京都外国語大学、京都芸術大学、近畿大学、神戸大学、神戸松蔭大学、神戸女子大学、筑波大学、帝塚山学院大学、同志社女子大学、奈良大学、奈良女子大学、佛教大学、大和大学、立命館大学、龍谷大学 以上 18 大学 19 人

8 中堅教諭等資質向上研修 (社会体験研修)

勤務年数約 10 年の教諭を対象に行う博物館業務に関する研修。

開催日	内容	参加者数
7 月 22 日・23 日	開館準備、シアター視聴後に受付手伝い、展示場見学、学芸員の講話、館	8 人
7 月 24 日・25 日	内空調について (講義)、展示解説説明、展示解説実地、体験学習会に向	8 人
7 月 30 日・31 日	けて準備作業など	8 人

9 フォーラム「ミュージアムでの教育活動－子どもたちに何を学んでもらうのか?－」

開催日	講座名	講師	参加者数
10月25日	報告1 学校や家庭にとって魅力ある博物館とは?	遠藤浩也	31人
	報告2 堺市博物館での展示における教育活動	橘泉	
	報告3 こどもにとって、美術館は行きにくい? 行きやすい?	国立国際美術館研究員・鬼本佳代子氏	
	報告4 生きた昆虫を中心にした伊丹市昆虫館の教育活動	伊丹市昆虫館館長・坂本昇氏	
	座談会	上記4名	

10 堺 自由の泉大学「歴史探訪と考古学」(堺市立男女共同参画センター 男女共同参画コース別講座)

開催日	講座名	講師	受講者数
令和7年7月3日	博物館の楽しみ方	矢内	14人
11月20日	いのちの文化史	矢内	14人
12月4日	日本の祭りの楽しみ方	北林	14人
12月18日	展覧会の楽しみ方	阪東	13人
令和8年1月15日	古墳を訪ねる楽しみ	橘	13人
2月5日	中世の楽しみ方	下原	13人
2月19日	屏風絵を見る楽しみ	宇野	(開催前)
3月19日	考古学の楽しみ方	海邊	(開催前)

11 古文書講習会

近世・近代の古文書を素材に堺市域に関する史料を読み、地域の歴史について理解を深めてもらう講座。
各日2コマ(合計4コマ)実施。

開催日	講師	受講者数
令和8年2月28日	阪東、渋谷	(開催前)
3月1日	下原、島田克彦氏(桃山学院大学 教授)	

・ 広報事業

例年行っている広報事業に加えて、令和7年5月1日に当館公式Instagramを開設し、週2~3回程度の情報発信を行うことで、広報を強化した。

・ 研究活動

共同研究「中世堺における歴史文化に関する学際的研究会」(令和5年度~7年度)

■ 国際機関との連携事業

1 無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

事業名	講師	開催日	受講者数
第46回無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ「中国太極拳の魅力にふれあおう」	陳静武術太極拳協会会長・陳静氏	6月29日	63人
第47回無形文化遺産理解ワークショップ「ミニ綴通を織ってみよう」	堺式手織綴通技術保存協会、北林、徐	8月2日	12人
第48回無形文化遺産理解セミナー「ユネスコ無形文化遺産「伝統的酒造り」一次世代へ受け継ぐ日本の文化一」※1	文化庁参事官（生活文化連携担当）付専門官・田中宏典氏	9月27日	50人
第49回無形文化遺産理解セミナー「メンテナンスやリサイクルから読み解く伝統木造建築の歴史」※2	東北工業大学教授・中村琢巳氏	10月12日	41人

※1 IRCI と当館の共催事業。※2 IRCI が協力名義

2 堺の無形文化遺産普及事業

地元堺の無形文化遺産、特に堺綴通の現状、その保存や継承などを紹介

イベント名	講師等	開催日	参加者数
ワークショップ ミニ綴通を織ってみよう ※1	堺式手織綴通技術保存協会、北林、徐	4月27日 6月15日	29人
堺の伝統産業を体験する・ 堺綴通の手織体験 ※2	堺式手織綴通技術保存協会、北林、徐	9月23日	250人

※1 堺 アルフォンス・ミュシャ館主催事業に堺式手織綴通技術保存協会と共同で参加した

※2 堺市内ライオンズクラブ主催事業に堺式手織綴通技術保存協会と共同で参加した

3 無形文化遺産パネル展示

パネル展「日本の無形文化遺産」を展示場内の文化遺産展示室で開催。ユネスコが推進している無形文化遺産保護条約の仕組みや具体的な事例、日本、堺市及びIRCIの取組について、最新の情報を随時更新している。

4 無形遺産動画作製

堺市内の無形文化遺産の普及啓発のため、ふとん太鼓に関する動画を作製中。